

安 全 報 告 書

(2012～2013シーズン)

大仙市営協和スキー場

指定管理者

(株) 協和振興開発公社

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対し、多数のご利用いただきまして誠にありがとうございます。今シーズンは、リニューアルして4年目として、「繁栄と無事故を祈念」とし、事故もなまく営業を終了することができました。これもひとえにご利用される皆様方のご協力によるものあります。心から感謝申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送安全確保のための実態、ならびに取組みについてまとめ、広く理解いただくために公表するものです。

12～13シーズンの安全管理体制のもと、適正な業務がなされているか、改善すべき点はないかを検証し、来シーズンの計画・実施に向けて、皆様のご意見を、安全輸送に役立てたいと思いますので、この報告に対する皆様のご意見をくださるようお願い申し上げます

大仙市営協和スキー場
指定管理者
(株)協和振興開発公社
代表取締役社長 久米 正雄

1. 基本方針と理念 「安全」

社長・役職及び社員は、「安全第一」の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び社員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針と、その他の事業に関する基本的な方針を具体的に定めるものとする。当社の理念は「安全第一」の意識をもって事業活動を行なえる体制の整備につとめます。

2. 社長・役職及び社員（社員に準ずる者も含む）（以下、「社員等」という。）の

安全に係わる行動範囲（安全第一の基本理念）は次のとおりとする。

- (1) 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（整備細則・運転細則・安全管理規程等）社員等に周知するとともに、よく理解させ、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を取ります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

4. 安全確保のための取組み

来場された全てのお客様の安全確保することは、スキー場に従事するすべての社員が、この責任の重さを認識し、管理運営の任にあたる必要があります。
当社においては、スキー場に従事する社員の多くが冬期間の臨時であるため、第一にスキー場の守るべき規範を教育することが重要と考えています。
そのうえで、お客様への対応の訓練や索道施設の運転に係る訓練を3日間において行い、索道施設を始めゲレンデから駐車場まで含めたスキー場内を毎日の見回りやそして始業点検をして行い、「お客様の安全第一」を確保します。また、緊急時に備え、「切る・連絡・確認・指示」の報告の方法を明確にし、全社員が対応できる能力を身につけるように訓練し、取り組んでおります。

- ◎ 東北索道協会秋田地区部会技術研修会
2名 索道技術管理員・索道技術管理者
- ◎ 東北索道協会総会
1名 索道技術管理者
- ◎ 東北索道技術管理者研修会
1名 索道技術管理者
- ◎ 圧雪車講習会
1名 技術者
- ◎ 大仙市営協和スキー場従事者研修会
21名 3日間 統括管理者 索道技術管理者
総務部長 他
- ◎ ヒヤリ・ハットはありませんでした

期間を通して毎朝、運営ミーティングを行い、終了時にも終業結果報告ミーティングを行い、翌日の団体来場予定者等の連絡を行ないます。

2012年12月22日～2013年 3月 3日 営業日数 72日間

ペアリフト	乗車人数	116,451
第二ペアリフト	乗車人数	177,022
	総乗車数	300,352

【1】 人材教育

当社では、輸送の安全に役立つよう、各安全のための研修会には、積極的に参加しシーズン営業開始前には、索道施設の取扱いの安全教育を徹底的に行っております。

【2】 緊急時における対応訓練

シーズン前、シーズン中においても各リフト従事者独自に救助訓練を施行しています。

ご利用者皆様へのお願い

リフト乗車時の注意事項

- リフト乗車に不安な方は係員に申し出てください。
- 乗れなかったら直ちにリフトから離れてください。
- 衣装やひも類には注意してください。
- ボーダーは流れ止めをつけハイバックをたたんでください。
- 乗っているときは、次のことは行わないでください。
 - イ. イスを揺すらないこと。
 - ロ. イスから飛降りること。
 - ハ. イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。
 - ニ. ストック等で柱等にさわること。
- リフトが停止しても飛降りはいしないでください。

禁止事項

- 指定コース以外の立ち入り禁止区域への進入
- コースの中を靴足のままで歩くこと
- ゲレンデ内にペット等を放すこと
- アルコールや薬物又はその他により、心身が正常でない状態での入場

上記以外においても係員の指示に従ってください。

安全報告書のご感想、当社の安全に関する取組みに対するご意見をお寄せください。

連絡先

〒 019-2401
秋田県大仙市協和船岡字上庄内71-1
大仙市営協和スキー場
指定管理者 (株)協和振興開発公社

Tel 018-893-2050
FAX 018-893-2050

安 全 報 告 書

(2013～2014シーズン)

大仙市営協和スキー場

指定管理者

(株) 協和振興開発公社

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対し、多数のご利用いただきまして誠にありがとうございます。今シーズンは、リニューアルして4年目として、「繁栄と無事故を祈念」とし、事故もなまく営業を終了することができました。これもひとえにご利用される皆様方のご協力によるものあります。心から感謝申し上げます。本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送安全確保のための実態、ならびに取組みについてまとめ、広く理解いただくために公表するものです。

13～14シーズンの安全管理体制のもと、適正な業務がなされているか、改善すべき点はないかを検証し、来シーズンの計画・実施に向けて、皆様のご意見を、安全輸送に役立てたいと思いますので、この報告に対する皆様のご意見をくださるようお願い申し上げます

大仙市営協和スキー場
指定管理者
(株)協和振興開発公社
代表取締役社長 久米 正雄

1. 基本方針と理念 「安全」

社長・役職及び社員は、「安全第一」の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び社員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針と、その他の事業に関する基本的な方針を具体的に定めるものとする。当社の理念は「安全第一」の意識をもって事業活動を行なえる体制の整備につとめます。

2. 社長・役職及び社員（社員に準ずる者も含む）（以下、「社員等」という。）の安全に係わる行動範囲（安全第一の基本理念）は次のとおりとする。

- (1) 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（整備細則・運転細則・安全管理規程等）社員等に周知するとともに、よく理解させ、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を取ります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

3. 事故の発生状況と再発防止対策措置

(1) 索道運転事故 (索道人身傷害事故)

平成24年度において索道運転事故(索道人身傷害事故)の発生はありません。但し、以前にありました停留所の「切る・連絡・確認・指示」の基本事項については、指導と確認を重点的に行っている。

(2) 災害 (地震・暴風雨・暴風雪・豪雪等)

災害はありません。

(3) 行政指導

ありませんでした。

(4)

No.	住 所	年齢	性別	スキー・ボード	時 間	創傷部位	場 所
1	秋田市	22	男	ボード	11:00	脊髄打撲	パラダイス
2	秋田市	21	男	ボード	12:00	左肩脱臼骨折	ロマンス
3	秋田市	21	男	ボード	15:00	右下腿裂傷	パラダイス
4	秋田市	28	女	ボード	14:25	右手首骨折	パラダイス
5	大仙市	29	男	ボード	14:15	右肩脱臼	チャンピオン第一
6	秋田市	21	男	ボード	13:00	顔面上唇裂傷	パラダイス 衝突
7	秋田市	26	女	ボード	14:30	右手首切傷	第二から連絡コ
8	大仙市	13	女	スキー	18:30	右下腿打撲	ナイター
9	宮城県	27	男	ボード	14:40	全身打撲	ファミリー中間
10	秋田市	20	女	ボード	14:00	頭部打撲	ロマンス
11	秋田市	59	男	スキー	12:20	右膝捻挫	パラダイス
12	秋田市	24	男	ボード	14:00	ひ骨骨折	ファミリー上部
13	秋田市	22	男	ボード	14:55	右肩脱臼	大会中間
14	秋田市	21	男	ボード	12:35	右足首捻挫	第二中間降場
15	潟上市	20	男	ボード	16:00	右手首骨折	ファミリー中間
16	秋田市	13	男	ボード	15:15	左尺骨骨折	パーク
17	五城目	18	男	ボード	13:30	左肩脱臼	ロマンス下部
18	秋田市	23	女	スキー	10:30	右膝捻挫	ロマンス下部
19	秋田市	21	女	ボード	11:20	左肩骨折	第一リフト降場
20	秋田市	20	男	ボード	11:40	左肩骨折	パーク
21	潟上市	21	男	ボード	13:40	顔面強打	パーク
22	潟上市	30	男	ボード	13:50	右肩脱臼	パーク
23	秋田市	22	男	ボード	14:30	左鎖骨骨折	パーク

傷 種 一 覧

種 別	性 別		骨折		脱臼		捻挫		切傷		打撲		その他		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
スキー	1	2					1	1				1			3
ボード	16	4	6	2	5		1		1	1	3	1			20
その他															
計	17	6	6	2	5		2	1	1	1	3	2			23

4. 安全確保のための取組み

来場された全てのお客様の安全確保することは、スキー場に従事するすべての社員が、この責任の重さを認識し、管理運営の任にあたる必要があります。
当社においては、スキー場に従事する社員の多くが冬期間の臨時であるため、第一にスキー場の守るべき規範を教育することが重要と考えています。
そのうえで、お客様への対応の訓練や索道施設の運転に係る訓練を3日間において行い、索道施設を始めゲレンデから駐車場まで含めたスキー場内を毎日の見回りやそして始業点検をして行い、「お客様の安全第一」を確保します。また、緊急時に備え、「切る・連絡・確認・指示」の報告の方法を明確にし、全社員が対応できる能力を身につけるように訓練し、取組んでおります。

- ◎ 東北索道協会秋田地区部会技術研修会
2名 索道技術管理員・索道技術管理者
- ◎ 東北索道協会総会
1名 索道技術管理者
- ◎ 東北索道技術管理者研修会
1名 索道技術管理者
- ◎ 圧雪車講習会
1名 技術者
- ◎ 大仙市営協和スキー場従事者研修会
21名 3日間 統括管理者 索道技術管理者
総務部長 他
- ◎ ヒヤリ・ハットはありませんでした

期間を通して毎朝、運営ミーティングを行い、終了時にも終業結果報告ミーティングを行い、翌日の団体来場予定者等の連絡を行ないます。

2012年12月22日～2013年 3月 8日 営業日数 72日間

ペアリフト	乗車人数	116,451
第二ペアリフト	乗車人数	177,022
	総乗車数	300,352

【1】 人材教育

当社では、輸送の安全に役立つよう、各安全のための研修会には、積極的に参加しシーズン営業開始前には、索道施設の取扱いの安全教育を徹底的に行っております。

【2】 緊急時における対応訓練

シーズン前、シーズン中においても各リフト従事者独自に救助訓練を施行しています。

ご利用者皆様へのお願い

リフト乗車時の注意事項

- リフト乗車に不安な方は係員に申し出てください。
- 乗れなかったら直ちにリフトから離れてください。
- 衣装やひも類には注意してください。
- ボーダーは流れ止めをつけハイバックをたたんでください。
- 乗っているときは、次のことは行わないでください。
 - イ. イスを揺すらないこと。
 - ロ. イスから飛降りること。
 - ハ. イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。
 - ニ. ストック等で柱等にさわること。
- リフトが停止しても飛降りほしないでください。

禁止事項

- 指定コース以外の立ち入り禁止区域への進入
- コースの中を靴足のままで歩くこと
- ゲレンデ内にペット等を放すこと
- アルコールや薬物又はその他により、心身が正常でない状態での入場

上記以外においても係員の指示に従ってください。

安全報告書のご感想、当社の安全に関する取組みに対するご意見をお寄せください。

連絡先

〒 019-2401
秋田県大仙市協和船岡字上庄内71-1
大仙市営協和スキー場
指定管理者 (株) 協和振興開発公社

Tel 018-893-2050

FAX 018-893-2050

安 全 報 告 書

(2014～2015シーズン)

大仙市営協和スキー場

指定管理者

(株) 協和振興開発公社

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対し、多数のご利用いただきまして誠にありがとうございます。今シーズンは、リニューアルして5年目として、「繁栄と無事故を祈念」とし、事故もなく、営業を終了することができました。

これもひとえにご利用される皆様方のご協力によるものあります。心から感謝申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送安全確保のための実態、ならびに取組みについてまとめ、広く理解いただくために公表するものです。

14～15シーズンの安全管理体制のもと、適正な業務がなされているか、改善すべき点はないかを検証し、来シーズンの計画・実施に向けて、皆様のご意見を、安全輸送に役立てたいと思っておりますので、この報告に対する皆様のご意見をくださるようお願い申し上げます

大仙市営協和スキー場

指定管理者

(株)協和振興開発公社

代表取締役社長 久米 正雄

2. 基本方針と 理念 「安全」

1. 社長・役職及び社員は、「安全第一」の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び社員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針と、その他の事業に関する基本的な方針を具体的に定めるものとする。

当社の理念は「安全第一」の意識をもって事業活動を行なえる体制の整備につとめます。

2. 社長・役職及び社員（社員に準ずる者も含む）（以下、「社員等」という。）の安全に係わる行動範囲（安全第一の基本理念）は次のとおりとする。

- (1) 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（整備細則・運転細則・安全管理規程等）社員等に周知するとともに、よく理解させ、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を取ります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

3. 事故の発生状況と再発防止対策措置

(1) 索道運転事故（索道人身傷害事故）

平成26年度において索道運転事故（索道人身傷害事故）の発生はありません。但し、以前にありました停留所の「切る・連絡・確認・指示」の基本事項については、指導と確認を重点的に行っております。

(2) 災害（地震・暴風雨・暴風雪・豪雪等） 災害はありません。

(3) 行政指導

ありませんでした。

(4) 協和スキー場傷害調査表

No.	住 所	年齢	性別	スキー・ボード	時 間	創傷部位	場 所
1	東京都	15	男	ボード	11:00	右肩脱臼	ハーフパイプ
2	秋田市	22	男	ボード	12:00	右鎖骨骨折	ロマンス
3	秋田市	21	男	ボード	15:00	頭部打撲	パラダイス
4	秋田市	10	女	スキー	14:25	右膝打撲	パラダイス
5	南秋田	20	男	ボード	14:15	右肘脱臼	ハーフパイプ
6	秋田市	19	男	ボード	13:00	右手首骨折	パラダイス
7	秋田市	19	男	ボード	14:30	右肘骨折	第二連絡コース
8	秋田市	11	男	ボード	11:30	右下腿打撲	チャンピオン
9	大仙市	21	男	ボード	14:40	右手首捻挫	ファミリー中間
0	秋田市	20	女	ボード	14:00	右前腕打撲	ロマンス
1	箕輪市	19	女	ボード	12:20	右前腕打撲	パラダイス
2	大仙市	9	男	スキー	14:00	左手切創傷	第二山頂
3	秋田市	19	男	ボード	14:55	右手打撲	大会中間
4	秋田市	25	男	ボード	12:35	左手首首捻挫	第二中間降場
5	秋田市	10	男	ボード	16:00	左膝打撲	ファミリー中間
6	秋田市	20	男	ボード	15:15	左鎖骨骨折	ハーフパイプ
7	秋田市	32	女	ボード	13:30	左足首打撲	ロマンス下部
8	秋田市	23	男	スキー	10:30	左大腿肉離れ	ロマンス下部
9	秋田市	21	男	ボード	11:20	左鎖骨骨折	パラダイス

傷 創 別

種 別	性 別		骨折		脱臼		捻挫		切傷		打撲		その他		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
スキー	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3
ボード	13	3	5	1	2	0	2	0	0	0	3	3	0	0	16
その他															
計	15	4	5	1	2	0	2	0	1	0	3	4	1	0	19

4. 安全確保のための取組み

来場された全てのお客様の安全確保することは、スキー場に従事するすべての社員が、この責任の重さを認識し、管理運営の任にあたる必要があります。当社においては、スキー場に従事する社員の多くが冬期間の臨時であるため、第一にスキー場の守るべき規範を教育することが重要と考えています。そのうえで、お客様への対応の訓練や索道施設の運転に係る訓練を3日間において行い、索道施設を始めゲレンデから駐車場まで含めたスキー場内を毎日の見回りやそして始業点検をして行い、「お客様の安全第一」を確保します。また、緊急時に備え、「切る・連絡・確認・指示」の報告の方法を明確にし、全社員が対応できる能力を身につけるように訓練し、取組んでおります。

- ◎ 東北索道協会秋田地区部会技術研修会
2名 索道技術管理者
- ◎ 東北索道技術管理者研修会
2名 索道技術管理者
- ◎ 圧雪車講習会
1名 技術者
- ◎ 大仙市営協和スキー場従事者研修会
41名 3日間 安全統括管理者 1名
索道技術管理者 4名
- ◎ ヒヤリ・ハットはありませんでした

期間を通して毎朝、運営ミーティングを行い、終了時にも終業結果報告ミーティングを行い、翌日の団体来場予定者等の連絡を行ないます。

2014年12月20日～2015年 3月 8日	営業日数	79日間
ペアリフト	乗車人数	123,217人
第二ペアリフト	乗車人数	177,468人
	総乗車数	300,685人

【1】 人材教育

当社では、輸送の安全に役立つよう、各安全のための研修会には、積極的に参加しシーズン営業開始前には、索道施設の取扱いの安全教育を徹底的に行っております。

【2】 緊急時における対応訓練

シーズン前、シーズン中においても各リフト従事者独自に救助訓練を施行しています。

ご利用者皆様へのお願い

リフト乗車時の注意事項

- リフト乗車に不安な方は係員に申し出てください。
- 乗れなかったら直ちにリフトから離れてください。
- 衣装やひも類には注意してください。
- ボーダーは流れ止めをつけハイバックをたたんでください。
- 乗っているときは、次のことは行わないでください。
 - イ. イスを揺すらないこと。
 - ロ. イスから飛降りること。
 - ハ. イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。
 - ニ. ストック等で柱等にさわること。
- リフトが停止しても飛降りほしないでください。

禁止事項

- 指定コース以外の立ち入り禁止区域への進入
- コースの中を靴足のままで歩くこと
- ゲレンデ内にペット等を放すこと
- アルコールや薬物又はその他により、心身が正常でない状態での入場

上記以外においても係員の指示に従ってください。

安全報告書のご感想、当社の安全に関する取組みに対するご意見をお寄せください。

連絡先

〒 019-2401
秋田県大仙市協和船岡字上庄内71-1
大仙市営協和スキー場
指定管理者 (株) 協和振興開発公社

TEL 018-893-2050
FAX 018-893-2050

